

こころ豊かな人づくり



神戸 500 人委員会だより

<第 107 号 令和 8 年(2026) 09 月吉日>

編集発行 こころ豊かな人づくり神戸 500 人委員会

責任者 金川 明嗣

〒653-0042 神戸市長田区二葉町 5-1-32

兵庫県神戸県民センター 県民躍動室県民課

青少年本部神戸事務局

TEL : 078-647-9091 FAX : 078-642-1018

◆会長挨拶

会長 13 期 金川 明嗣

常日頃会員の皆様には、こころ豊かな人づくり神戸 500 人委員会の活動にご理解、ご協力を頂き誠に有難うございます。今期の活動・催しも後半期に入り会員の皆様方の御協力が大きな力となります。

今後共宜しくご協力をお願いいたします。また 7 月 28 日には“令和 8 年熊本地震”が発生しました。当該地域の皆様にとっては、10 年前の地震から本格的な再建が一段落し、これからという時に今回の地震、心からお見舞い申し上げますと共にご再建をお祈り致します。

当会の今後の事業参加の主な内容として

- ① 生活創造センター “生活創造フェスタ” 「折り紙」 11 月 22 日 (日)
- ② ふたば学舎 “まちの文化祭” 「海釣り公園」 「缶バッジ」 11 月 22 日 (日)
- ③ HAT 神戸 “ひょうご安全の日” 「防災安全ゲーム他」 令和 9 年 1 月 17 日 (日)

上記は共に日曜日の開催実施となっており、多くの来場者が見込まれます。会員の皆様方の絶大なご協力をお願い致します。また今後共、新規会員の勧誘等の御協力、ご支援をお願いします。

追伸*** 8 月 26 日に大変うれしいお知らせがありました。この度“青少年本部表彰”を頂けることになりました。設立以来、先輩各氏の活動と努力が報われた事と思います。心から感謝申し上げます。

今後とも現役の私たちが頑張って先輩方の意思を引き継ぎ、頑張り精進したく思います。よろしく応援をお願い申し上げます。

◆ご挨拶

(公財) 兵庫県青少年本部神戸事務部長 岩崎 左希子

このたびは、栄えあるご受賞、誠にありがとうございます。まずは、長年にわたり青少年の健全育成に尽力され、地域社会の発展に多大なご貢献をいただいておりますことに、心より感謝申し上げます。

皆様は、未来を担う子どもたちや若者たちの成長を支え、その可能性を広げるために、日々情熱を持って活動을続けてこられました。その地道な取り組みは、多くの青少年に夢や希望を与えるとともに、地域の絆を深める大きな力となっています。

今回の受賞は、そのような皆様の献身的な活動が広く認められたものであり、関係者の皆様にとって大きな喜びであると同時に、私たちにとっても誇らしい出来事です。

青少年の健やかな成長を支える活動は決して容易なものではありません。その中で、常に地域に寄り添い、多くの子どもたちのために力を尽くしてこられた皆様のご努力に、改めて深く敬意と感謝の意を表します。

このたびの受賞を心からお祝い申し上げますとともに、これまでのご尽力に深く感謝いたします。今後も皆様の活動がより一層発展し、青少年の健全育成活動を主とした地域づくり活動の担い手としてご活躍されますことを心よりお祈り申し上げます。

ご受賞、誠にありがとうございます。

そして、これまでの温かいご貢献に心から感謝申し上げます。



I. 正式な修了式はできなかった3期生。

2年間の研修を終えて、まとめの時に起きた阪神大震災!! 研修生の日常は一変した。もちろんセミナーは中止。旧青少年会館のダメージも大きく、修了式はクリスタルホールで行われた。神戸地区120名の修了生の内、3割近くは参加できなかった。

II. 「震災の今をあるがままに・感じたこと・市民レベル目で見ませんか」と呼びかけた。

- ① 1月下旬私は終了生宛てに、未曾有の体験と思いを残そうと、90通ほど封書にして送った。
『言いだしっぺさん』やりましょう!』と避難混乱の中から手が上がった。52編の原稿と、困った事や工夫したことのアンケート結果35通も集まった。
- ② 写真カット図を入れて編集、5月連休明けに入稿、恐る恐るの自費出版へ。〈内容の一例〉
 - ・停電の甲南病院に運ばれて、ケガ人でごった返す状況「ここは野戦病院やから」の体験記。
 - ・震災2週間前に、神戸にも地震が起きるという授業をした中学校教師が、明石、神戸の被災地を自転車で駆け巡って記した「破壊が走った!」という手記。
 - ・トラックに取り付けた温水シャワー室「ひまわり温泉」ボランティア実践記。
 - ・ホームセンター2社に、三月までのその時々、何が要求されどう対応したかを書いてもらった資料。
- ③ B5版263ページの生々しい市民レベルの証言集となり、「こころ豊かな人づくり500人委員会阪神大震災を市民レベルの目で冊子する会編」の反響は全国に広がり、版を重ねて2800部となった。



III. 500人委員会の運営事業費はゼロで実施した。震災10周年記念事業「わかもの発!」

主催：こころ豊かな人づくり500人委員会神戸ブロック

月日：平成17年2月13日

場所：新長田ピフレホール & 3F 全会議室と駅前広場

テーマ：わかもの発! 未来につなげ1・17

ステージの部

記念講演 報道がつむぐ未来へのメッセージ

NHK エグゼクティブアナウンサー 古谷 和雄

震災から学ぶコミュニティと防災 舞子高校生

震災を通して「愛と家族」ユース映像俱楽部中高生

鎮魂と希望の和太鼓演奏 はたっこ太鼓 中高生

会議室展示の部

あの日の神戸は写真展・まさかの備え・防災知恵袋

駅前 広場：アトラクションステージ・にぎわいバザーなど

当日参加者：約2000名 委員会スタッフ職員計：100名

総事業支出：179万円 事業収入：186万円

(入場料・寄付金・助成金・フリマ収益金など)



IV. 懸命に念ずれば花開く。38年の活動の歴史 神戸500人委員会誇りあれ。

「運営委員会に見学に来てください」

企画委員長 15 期 小林一弘

毎月第 3 木曜日 13:30 分より神戸青少年会館で 15 時 30 分まで開催しています。来られる時はお知り合いの運営委員に連絡して下さい、必要資料等は用意します。年 4 回発刊の「こころ豊かな人づくり神戸 500 人委員会だより」だけでは会員同士の意思疎通が出来ません。

今年の夏も近年にない暑さでした。皆様お変わりないでしょうか？

2050 年夏には 40 度以上の酷暑日が、全国でのべ 157 地点に上り午前 11 時から 15 時まで「外出自粛令」が出される「2050 年の天気予報」という記事がありました。

今後の行事予定について 11 月 22 日「生活創造フェスタ」同日「まちの文化祭」令和 9 年 1 月 17 日の「ひょうご安全の日」 3 月末総会（役員交代）大きくは 4 行事ですが、以前から行なっていました「ワイガヤかふえ」の復活 県民局また他ボランティア活動の協力活動があります。夏場（6 月～9 月）の活動はさておき秋から（10 月～5 月）は活動期間に入ってきます

行事当日はとにかく準備、後片付け、反省会等何かとチームで動く行動が多々あります。運営委員の人数が少ないのではないかなと言う話しも聞きます。積極的でない方、自分の発言に責任をもてない方はチームの足をひっぱり遠慮させて頂きたいです。それと一部の諸先輩方に昔の成功例を色々と話される方がいらっしゃいますが「10 年・15 年前の事例を話されても今の状況とマッチしていません」。会員の平均年齢・会員の意識等・社会状況・現運営委員への批判なのか愚痴なのかわかりませんが、この会を継続していくのであれば後押ししてもらえないでしょうか。まだまだこれから「やりたい」企画がたくさんあります。皆様の御協力よろしくお願いします。

こころ豊かな人づくり神戸 500 人委員会のこれからについて 広報委員長 12 期 上山治夫

7 月 28 日に熊本地震が発生しました。被災地の皆様の御苦労・ご心労に心よりお見舞い申し上げます。当会員の皆様方にとって、これ迄東北・10 年前の熊本地震への被災地支援活動を行われた方々にとっても気掛かりな事と思います。

我々会員にとって当会の今後の在り方について、改めて考える時・時期ではないかと思えます。

（現状運営委員会にて検討中です）

会員数の減少（平成 27 年度 114 名⇒令和 7 年度現在 44 名）及び高齢化。

① 被災地支援に対して 会員の高齢化及び減少により困難である。

各イベント実施時に、義援金支援活動等を継続していく。

② 会員同士の“親睦”交流“等を密にする事業。

過去に実施してきた「ワイガヤかふえ」の再開。

定期的に（場所・時間）を決め皆様に集まって頂き、コミュニケーションを密にする。

（現在、具体的な場所・テーマを検討中）

③ 県及び支援団体からの要請に伴う事業の参加協力を！

「ひょうご安全の日」「生活創造フェスタ」「まちの文化祭」等

④ その他

同封の返信用はがきに、会員皆様方のご意見ご要望についてご記入して頂きたく宜しくお願い致します。尚、11 月 22 日（日）実施予定の 2 つの事業についてもご参加よろしくお願いします。*時間場所は後日連絡* 10 月 18 日（日）までに投函頂けますようお願い致します。

◆イベント実施の報告

小・中学生のための「理科教室」

副会長 9期 金銅 良江

主催：兵庫県青少年本部神戸事務部 協力：神戸市立工業高等専門学校

令和8年8月25日（火）午後13:30から神戸生活創造センターにて、小・中学生のための「理科教室」が開催されました。昨年に引き続き、神戸500人委員会は受付を担当させて頂きました。今年は酷暑連続の中でも、小学校高学年と中学生の14組が保護者と共に参加され受付を済ませました。神戸市立工業高等専門学校の先生の説明をしっかりと聞き、神戸高専の学生たちが考えた実験を、参加した小・中学生らの“ワクワク感”が教室をいっぱい満たしていました。

- ① 水を注いだらいきなりシャーベットができる！
- ② 蛍の光を再現する！ 3つの小さなカップに入った3色から蛍の光？
- ③ この物質、たくさん水を吸うぞ！

あっという間の2時間でしたが、参加された生徒さん達の顔は難問を解決した！！
夏休みの1日を有意義に過ごした満足感で溢れていました。



編集 後記

こころ豊かな人づくり神戸500人委員会「だより」第107号の編集をさせて頂きました。今年の夏は本当に異常な猛暑（酷暑）でエアコンが離せない毎日でした。皆様方の体調は大丈夫でしょうか？ また7月28日には熊本で2度目の地震が発生し、被災者の方々に対し心からお見舞いを申し上げます。

異常気象の為、体調に異変を起こしかねません。くれぐれもお身体をご自愛くださいませ。今回も、発刊に際し皆さま方の御協力を頂き誠に有難うございました。

＊＊同封しております返信用はがきに必要事項を記載していただき 10月18日（日）までにご投函をお願いします＊＊

なお、個人情報保持の関係上、寄稿・投稿頂きました方々の氏名を略させて頂く場合もありますが、ご了解お願い致します。

広報委員長 12期 上山 治夫